

WISENETの取組みについて

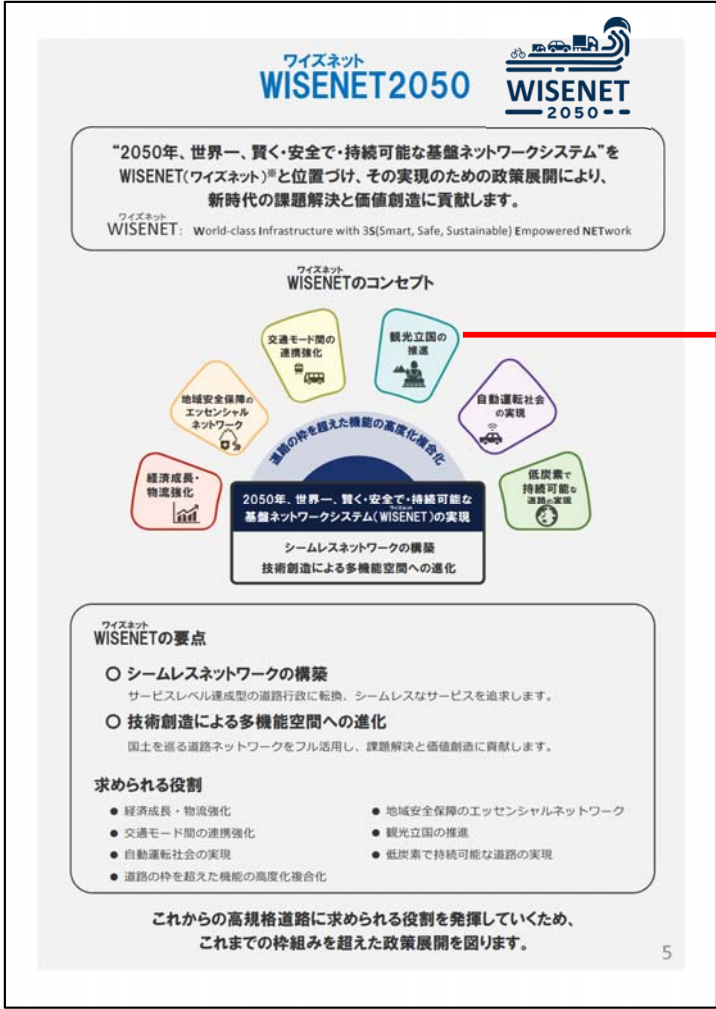
②GW等大型連休の観光渋滞対策

令和7年3月10日

1. WISENETの施策に基づく観光渋滞対策について

- WISENETのコンセプトには「観光立国の推進」も含まれており、全国各地で課題となっている「オーバーツーリズム」に対する対策も進めていく。
- オーバーツーリズムが課題となっている観光地について、ビッグデータを活用して、交通の特性を明らかにするとともに、渋滞要因を分析し、効率的・効果的な渋滞対策を検討することで、効率的・効果的なサービス向上を実現していく。

■ WISENET2050の概要



オーバーツーリズムとなっている観光地をビッグデータで分析し、ハード・ソフト両面において地域と連携した渋滞対策の推進でサービスレベルの向上を実現

✓ サービスレベルをデータで評価

- 観光客の少ない平日の旅行速度（ポテンシャル性能）
- 大型連休等、観光ハイシーズンの平均旅行速度（パフォーマンス性能）

✓ 課題箇所の分析

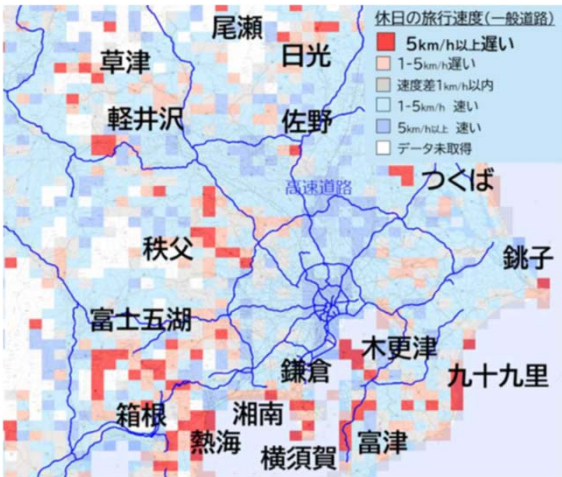
- 「時間別・箇所別・方向別」の速度データや、渋滞箇所を通行する車両の出発地等の交通特性やパフォーマンスが低い箇所の渋滞発生メカニズムを分析します。

✓ 新たな対策の実施

- 今後、必要な基準等の整備を検討し、局的・面的な渋滞対策など、新たな対策を柔軟に実施します。

✓ 需要サイドとの連携

- インフラのポテンシャルを活かし、賢く利用していくためには、需要サイドとの連携も重要です。
- 地域との協働や経済的手法を含めたTDMを推進します。



▲ 休日の速度低下エリア

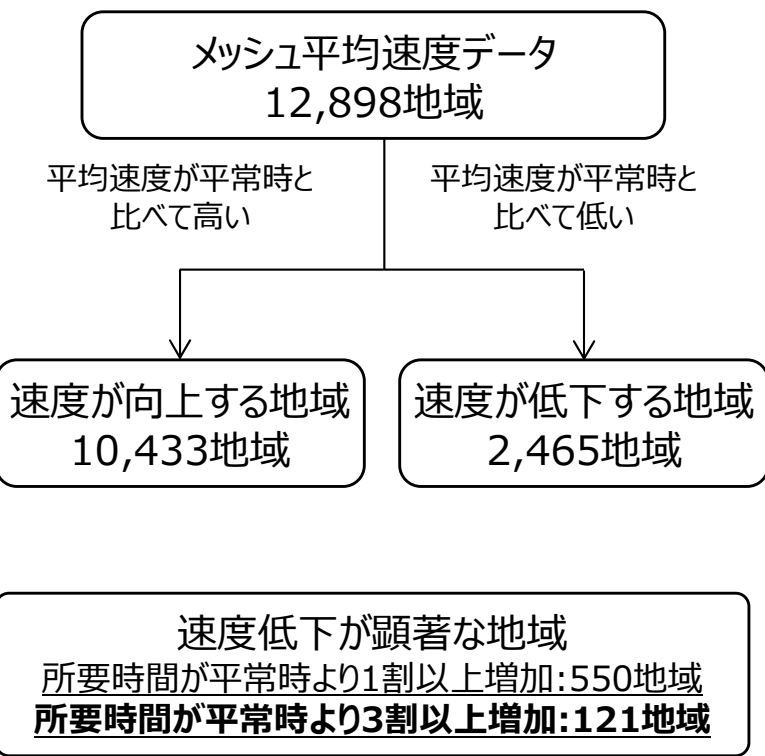
地域	エリア数	該当箇所例	地域	エリア数	該当箇所例
北海道	29	札幌、函館、洞爺湖、釧路	近畿	36	淡路、城崎、大津、新宮
東北	42	仙台、仙北、蔵王、天童	中国	10	廿日市、鳥取、出雲、倉敷
関東	82	鎌倉、箱根、日光、片品	四国	10	土佐清水、直島、三好
北陸	8	七尾、和島、弥彦、南砺	九州	43	湯布院、中津、大宰府、霧島
中部	49	白川、伊勢、熱海、下田	沖縄	12	読谷、恩納、名護、本部

▲ 地域毎の速度低下エリア

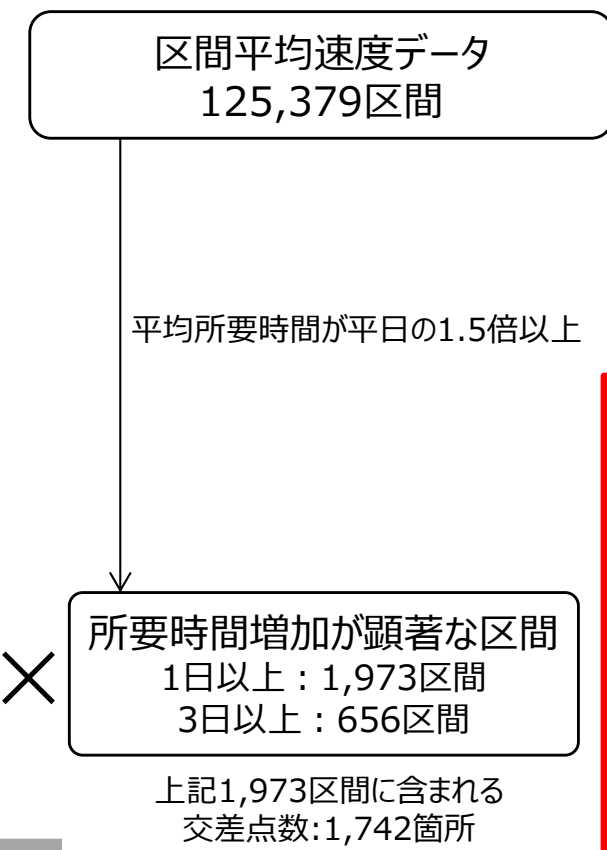
2. 令和6年度のGW期間中に特に混雑が見られた80エリアについて

- WISENETの施策に基づき、令和6年GWの一般道路の交通状況について全国一律で集計を行ったところ、GW期間中に特に混雑が見られた80エリアが抽出され、兵庫県内でも「淡路市」、「神戸市・三田市」、「豊岡市」の3エリアが抽出された。
- 各道路管理者は考察・検証し、必要に応じて対策検討を進めていく必要がある。

＜地域分析（5km×5kmメッシュ）＞



＜区間分析（交通調査基本区間）＞



速度低下が顕著な地域、かつ所要時間増加が顕著な区間が重複するエリア

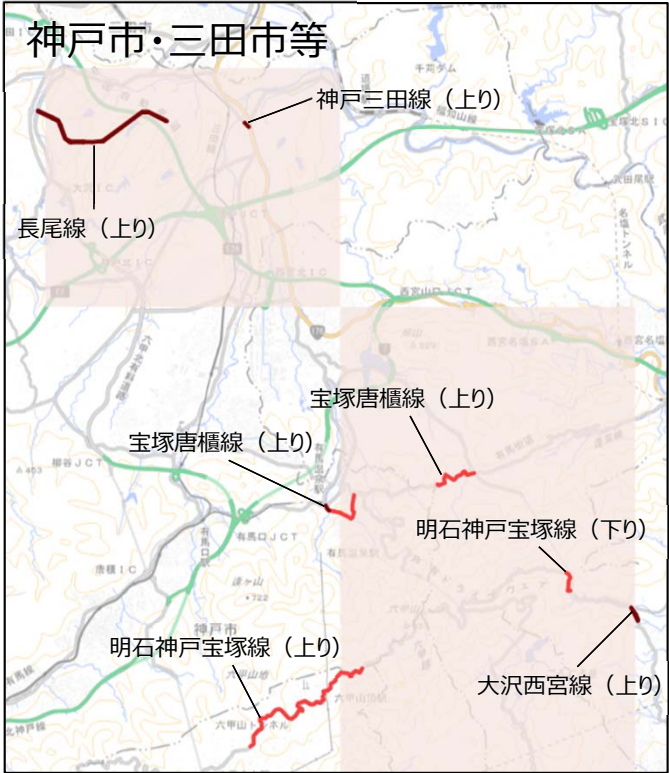
特に混雑が見られたエリア：80エリア

都道府県	市町村	主な路線
41岐阜県	白川村	国道156号等
42岐阜県	美濃市	国道156号
43静岡県	熱海市・伊豆の国市等	国道135号等
44静岡県	島田市	国道1号
45静岡県	浜松市	県道323号等
46愛知県	豊田市	県道77号等
47愛知県	犬山市	県道49号
48滋賀県	甲賀市	国道307号等
49滋賀県	大津市	国道161号等
50京都府	京都市	府道29号等
51京都府	宮津市	府道2号等
52大阪府	泉佐野市	国道26号等
53大阪府	箕面市	府道4号
54兵庫県	神戸市・三田市等	県道95号等
55兵庫県	豊岡市	県道3号
56兵庫県	淡路市	国道28号等
57奈良県	桜井市	国道165号等
58鳥取県	鳥取市	県道265号
59鳥取県	湯梨浜町	県道320号等
60岡山県	和気町	県道96号等
61岡山県	真庭市	国道482号
62広島県	東広島市	国道2号等
63広島県	廿日市市	国道2号
64徳島県	鳴門市	県道11号等
65愛媛県	伊予市	国道378号
66高知県	高知市	県道34号
67福岡県	福岡市	国道263号
68福岡県	東峰村	国道211号等
69福岡県	糸島市	国道202号等
70佐賀県	伊万里市・有田町等	国道35号等
71熊本県	阿蘇市	県道298号等
72熊本県	上天草市等	国道266号等
73熊本県	小国町	国道212号等
74熊本県	山都町	国道218号
75熊本県	八代市	国道219号
76大分県	大分市・由布市	県道216号等
77大分県	日田市	国道212号
78宮崎県	高千穂町	国道218号
79鹿児島県	出水市	国道3号
80鹿児島県	霧島市	県道60号

兵庫県内では
3エリアが抽出

2. 令和6年度のGW期間中に特に混雑が見られた80エリアについて

兵庫県内の選定エリア(3エリア)

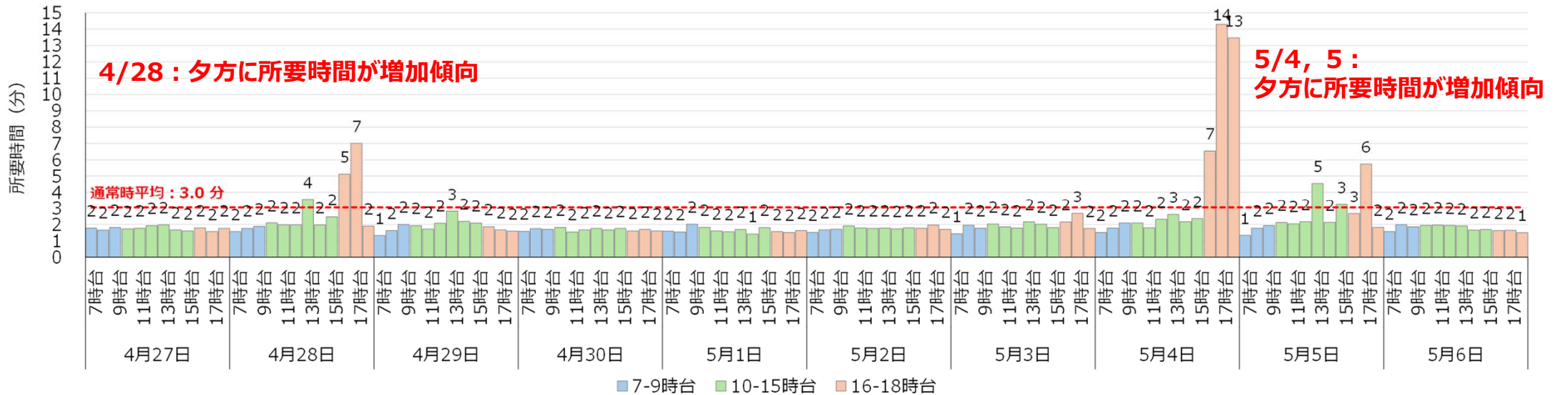


3. 国道28号淡路市周辺における観光渋滞対策の検討事例

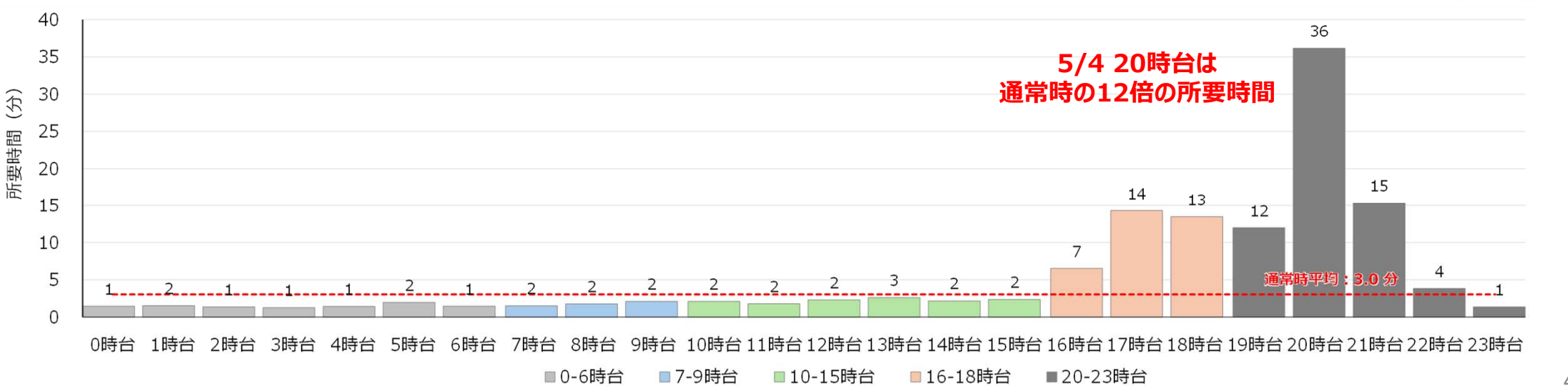
(1) GW期間中の時間帯別所要時間の状況(田ノ代交差点→淡路インター前交差点間)

- 時間帯別の所要時間では、通常時の平均所要時間である3分を下回る日が多いものの、4月28日、5月4・5日に通常時より所要時間を要している時間帯が存在し、夕方15時台以降に所要時間が伸びており、帰宅交通が集中している。
- 通常時と比較して1.5倍の所要時間となっている5月4日は、夜20時台に通常時と比較して12倍となる36分を要している。

▼GW期間中の時間帯別所要時間（昼間12時間）



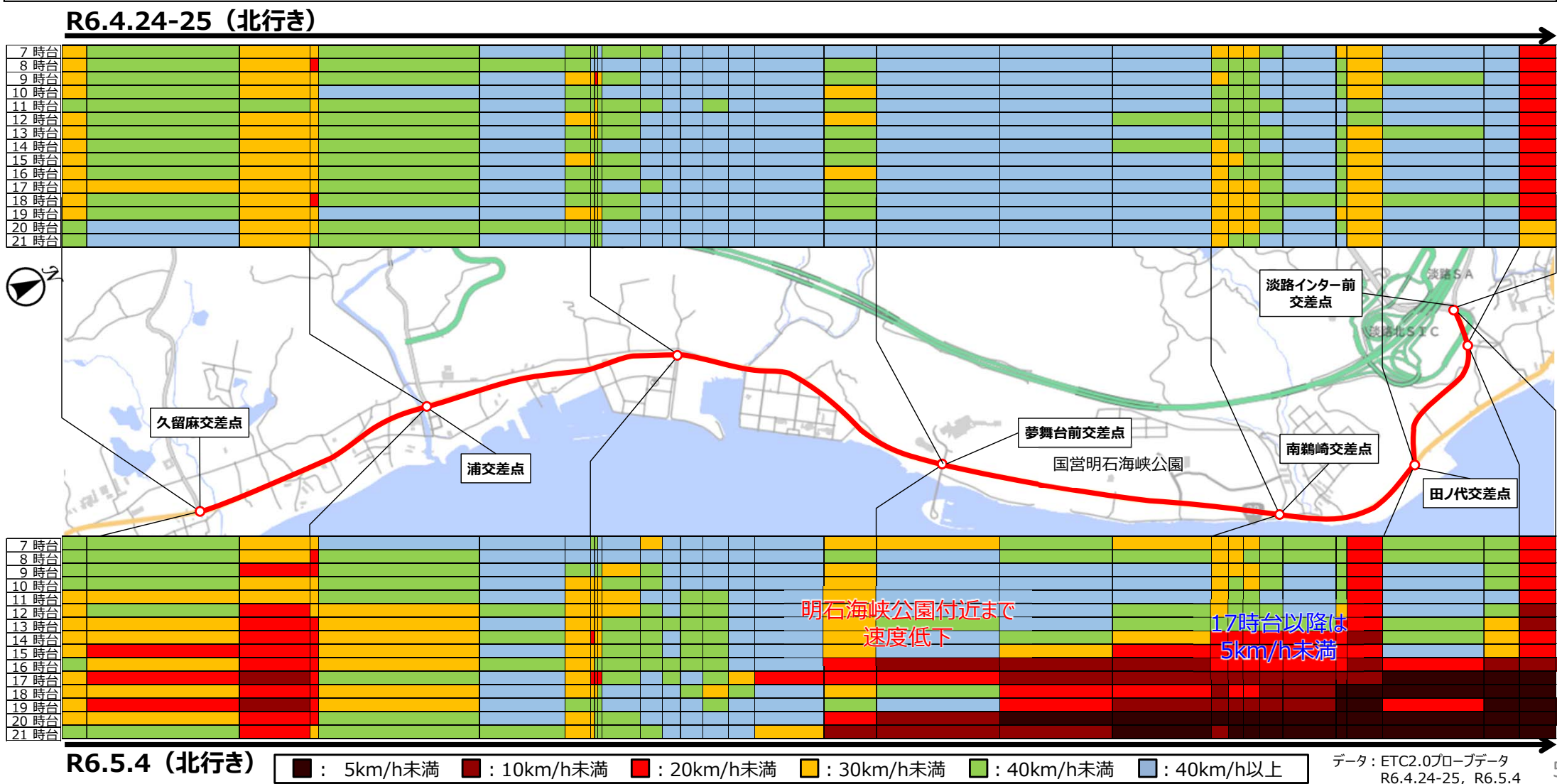
▼5/4の時間帯別所要時間（24時間）



3. 国道28号淡路市周辺における観光渋滞対策の検討事例

(2) GW期間中の国道28号北行きの旅行速度

- GW前の4月24・25日には、淡路インター前交差点で20km/h以下に速度低下している時間帯が多いが、その他の箇所で見立った速度低下は発生していない。
- 所要時間が1.5倍となっている5月4日も、淡路インター前交差点を先頭とする20km/h以下の速度低下が発生。
- 夕方16時台以降は最大で国営明石海峡公園付近まで速度低下区間が続き、さらに17時台以降は5km/h以下まで速度が低下している。



3. 国道28号淡路市周辺における観光渋滞対策の検討事例

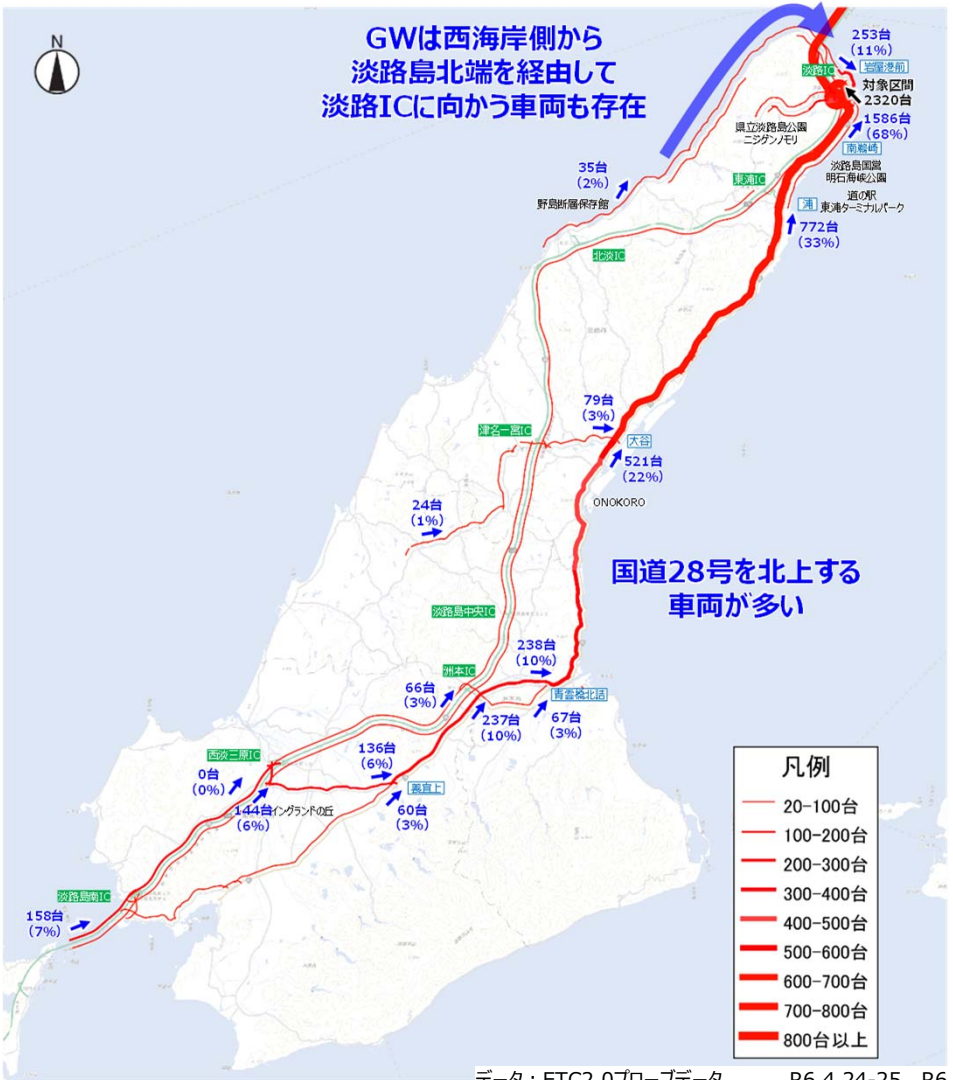
(3) 淡路IC利用車両の利用経路状況

- 通常時、GW期間中ともに、国道28号を北上する車両が多く、3割以上が東浦ICから高速道路を利用せず、淡路ICまで北上している。
- GW期間中は西海岸側から淡路島北端、岩屋港の前を通過して淡路ICに向かう車両も存在し、岩屋港前交差点通過車両は1割に達している。

▼通常時（4/24, 25）の経路



▼GW（4/27～5/6）の経路



3. 国道28号淡路市周辺における観光渋滞対策の検討事例

(4) 対策方針(案)

- 淡路島は島外からの日帰り観光スポットとなっていますが、淡路島への接続道路が神戸淡路鳴門自動車道のみとなっているため、淡路島北端の淡路ICに交通が集中している。
- 地域の産業経済や住民の生活を支える国道28号では特に大型連休には観光交通による渋滞が発生しており、さらに淡路IC周辺には新たな集客施設の開発が予定されていることから、さらなる渋滞悪化が懸念されている。
- 過去の所要時間実績等による混雑予測情報や、東浦ICを利用した迂回経路の情報を看板やインターネット、事前広報チラシ等で提供して帰宅交通を分散する渋滞対策を行い、サービスレベルの向上を図っていく。



渋滞情報の提供イメージ

① 看板を活用した情報提供

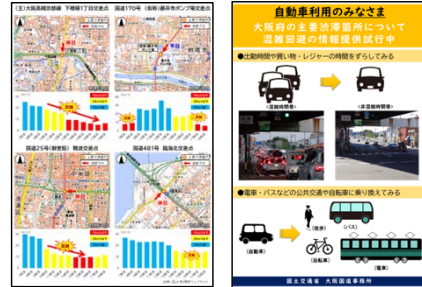
淡路ICまでの国道28号が混雑していることを周知し、東浦ICを利用した迂回経路の情報を記した看板を、「道の駅 東浦ターミナルパーク」に設置

② 混雑予測情報の提供

ETC2.0による過去の所要時間実績等による混雑予測情報を兵庫国道事務所のHP等で提供

③ 事前広報チラシ

大型連休の夕方～夜にかけてに国道28号で大きな渋滞が発生することを周知する広報チラシを作成し、道の駅やSA・PAに配置して情報提供



情報提供のイメージ

情報提供により帰宅交通の分散
→サービスレベルの向上を図る



看板のイメージ



広報チラシのイメージ